



第8号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

令和元年の秋

令和元年5月 国際バカロレア機構より
DP 候補校として認定されています

令和元年5月1日から令和の時代が始まりました。1学期は令和という新しい元号をじっくり

感じることができなかったのですが、今では令和に馴染んでいることさえ、すっかり忘れていました。本年度も半分が過ぎすっかり秋の様相となりました。2年生は中学生としての自信に溢れ、この時期の成長の力強さを感じます。1年生は既に小学生の雰囲気はなく、立ち居振る舞いが中学生になってきていることをうれしく思います。

保護者の方々にはPTA組織を中心に学校行事等への参加協力をいただき感謝しています。また、貴重な意見もいただいております。内容を十分把握し適切に対応していきます。先日、授業に関する意見をいただきました。これについては校内研修で取り上げ、授業改善に向けての協議を行いました。常に授業改善に取り組む姿勢を再確認し、教科の目標達成イメージの具体例を示す。授業の記録（ノートなど）は個に応じて対応し肯定的な助言をする。知識理解や技術の習得については教科によってその特性を理解したうえで指導計画を作成する、などを確認しました。

さらに、授業に参加できなかったときの支援についても、個に応じてそれぞれ検討していくことも確認しました。生徒にとって丁寧であり、生徒自身が成長を実感し、その喜びを感じられるように、今後も継続して授業改善に取り組みます。

学校組織の充実を図るために、9月から新しい職員3名が加わりました。業務内容は総務的な内容全般と理科担当、図書関係の事務補助、理科関係の事務補助です。教職員紹介のコーナーをご覧ください。

「ななこカフェ」という取組をしています。どういうものかということ、身近なその分野の専門家や先輩などを講師として招き、気軽に話が聞けて質問もしやすい雰囲気の中で、その方の志に触れたり、専門を感じることでできる取組です。まだ、定着した取組ではないですが昨年度から主に放課後の時間帯を利用して、参加しやすいようにカフェ形式で設計をしています。これも本校の特徴的な取組に発展させたいと思っています。

昨年度は5回、本年度はこれまでに4回実施し、最近では9月24日（火）には東京演劇集団「風」の俳優である中村滋（なかむらしげる）氏、9月27日（金）には高知大学名誉教授、国際音声科学協会理事、ロンドン大学音声科学部名誉上級研究員などの役職であり、日本の英語音声学の第一人者である谷口雅基（たにぐちまさき）氏に、それぞれ講話や演習を行っていただきました。これからも素敵な講師を招きお話を伺いますので積極的な参加を期待しています。

とても過ごしやすい季節になりました。今秋、本校は芸術関係の行事が多くあります。

10月17日（水）には東京佼成ウィンドオーケストラの公演（文化庁が行う巡回公演事業）、

11月1日（金）文化発表会（各クラス演劇に挑戦します）には東京演劇集団「風」からの指導助言、

11月19日（火）ピアニストの奥田弦さん（現役高校生）のコンサートが実現します。

学校以外でも多くの芸術的な催しがありますので、楽しく参加して素敵な芸術の秋にいたしましょう。



教職員紹介

二学期より新しい教職員が加わりましたので、ご紹介いたします。よろしくお願ひします。

講師（理科）

前田信幸

理科の授業で生徒の皆さんと勉強していくことを楽しみにしています。

理科事務補助

竹島啓子

みなさんが世界に羽ばたく手伝いができればと思っています。

図書事務補助

武井久美

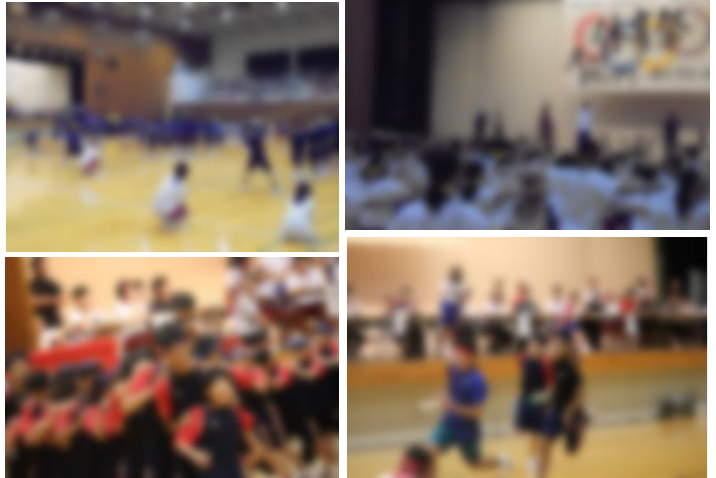
図書室にもたくさん足を運んでください。

高知国際中・高知西高合同体育祭を行いました

生徒指導・サポート部 生徒会担当 堀見 絵里沙

9月12日(木)、高知県民体育館で高知国際中学校、高知西高等学校合同の体育祭を行いました。1年生は We can Jump!、2年生は KOKUSAIBOU、中1・2年生合同で小ムカデ競争に出場しました。はじめの頃は皆で息を合わせるのが難しかったですが、練習を重ねるたびにどんどん上達していきました。体育祭当日、スタートラインに立つ真剣な表情は、一回りも二回りも大きく見えました。一生懸命頑張る中学生の姿は、高校生や教職員からも好評でした。中学生も高校生の競技レベルの高さや完璧な準備、運営を近くで見ることができ、喜びの多い体育祭となりました。

本年度のスローガンは「R-1グランプリ～零話 新章のはじまり～」です。和気あいあいとした雰囲気の中にも、各団の団結力が見られました。学校が少しずつ移り変わっていく中にも、新しい時代の幕開けを象徴するような行事となりました。夕方にはテレビでも放映されました。また、本年度は学校の体育館が工事のため県民体育館で開催しました。



県民体育館の体育祭のようす

生徒の活躍 (夏休みから9月)



第5回 ジョン万次郎 英語弁論大会 高知県教育委員会 教育長賞を受賞

担当：英語科 長野 千恵

科学の甲子園高知県大会金賞・銀賞受賞

7月7日(日)、科学の甲子園ジュニア高知県大会予選が県内5会場で開催され、高知国際中学校からも2年生から1チーム、1年生から2チームが参加をしました。予選の結果、本校から MAKs、M²KIHS の2チームが高知県大会本選に出場しました。

8月18日(日)に行われた高知県大会本選において、県内各地の予選を通過し出場した10チームの中から M²KIHS チームが金賞、MAKs チームが銀賞を受賞しました。生徒たちが日頃の授業等で培ったことが、チームワークとして十分に発揮されました。

なお、大会の様子は、高知県教育委員会事務局中部教育事務所のホームページにも掲載されています。

高知県中学校総合体育大会陸上競技の部

- 2年 A ホーム 辻本龍之介さん
男子砲丸投第5位 9m68
- 1年 B ホーム 上岡円嘉さん
女子 1500m 第6位 5' 38.66

高知県中学総合体育大会水泳の部、 第57回四国中学校総合体育大会水泳競技の部

7月22日、くろしおアリーナで行われた高知県中学校総合体育大会水泳の部において、2年 A ホーム岡谷存哲さんが男子 200m自由形に出場し、2分06秒87で第2位となり、徳島県で行われる四国大会に出場しました。

また、8月3日、JAバンクちよきんぎょプールで行われた第57回四国中学校総合体育大会水泳競技の部において、男子 200m自由形に出場した岡谷存哲さんは、2分09秒39のタイムで第6位に入賞しました。

8月18日(日)、「オーテピア」4階ホールにて第5回ジョン万次郎英語弁論大会が実施され、中学生11名、高校生10名の計21名がエントリーしました。今年のテーマは「万次郎の英語、…私の英語」でした。



審査の結果、2-B ブレイク未亜さん スピーチのようすが「JON MANJIRO'S ENGLISH MY ENGLISH」という論題でスピーチを行い、高知県教育委員会教育長賞を受賞しました。おめでとうございます。

スピーチでは、日本にいたときには学校に通えず、文字の読み書きのできなかった万次郎が、アメリカに渡り、英語を必死に学習し、その後通訳として活躍した努力と自身の英語学習についての経験を発表しました。

第4回高知県学年別水泳競技大会

9月8日、くろしおアリーナで行われた第4回高知県学年別水泳競技大会において、以下の成績を収めました。(3位まで)

- 2年 A ホーム 岡谷存哲さん
 - 中学2年男子 200m個人メドレー 第1位
 - 中学2年男子 100m自由形 第1位
 - 中学2年男子 200m自由形 第1位
- 1年 A ホーム 瀧本心響さん
 - 中学1年女子 100m自由形 第1位
 - 中学1年女子 200m自由形 第2位
 - 中学1年女子 50m自由形 第2位
- 1年 A ホーム 木村美友さん
 - 中学1年女子 50mバタフライ 第3位

それゆけ！突撃インタビュー。

担当：謎の記者「月光」

「それゆけ！突撃インタビュー。」第7弾です。このコーナーは高知国際中学校を一緒に創りあげてくれる人々に、謎の記者「月光」（どこの誰だか知らないけれど、誰もがみんな知っている人です）が突撃インタビューを敢行します。

11月1日（金）、文化発表会（各クラス演劇に挑戦します）において東京演劇集団「風」からの指導助言がいただけることになっており、今回は、東京演劇集団「風」の渋谷愛さんと中村滋さんにインタビューをしました。

渋谷 愛さん

1 いま、東京演劇集団「風」の俳優さんですが、これまでの経歴の簡単に教えていただけますか。

東京都小平市の生まれです。小学校から高校まで地元の公立学校に通い、高校卒業後は日本大学芸術学部 演劇学科・演技コースを専攻しました。大学4年生の卒業制作の時、演出指導に来てくれた、東京演劇集団風の芸術監督・浅野佳成と出会いました。当時、卒業後に演劇の道に進むことを迷っていましたが、浅野との出会いで演劇そのものの見方や考え方が変わり、目の前が明るくなり、拓けたように感じました。そして劇団風に入団しました。

2 いままでにやった役で一番印象に残っている役はなにですか。また、それはなぜですか。

アニー・サリバンは、とても大切に、思い入れの深い役です。演じている9年間でたくさんの中学生・高校生と出会い、「演劇とは何か」を考えるきっかけをもらいながら、みなさんと共につくりあげてきた役だと感じるからです。

『フランクフルトにいる恋人がいるサクソ奏者が語るパンダの物語』。フランスの劇作家マテイ・ヴィスニユックの作品で、俳優としてはじめて、人の前に立ちました。「彼」と「彼女」が過ごす9日間の物語で、「彼女」を演じました。劇団風との出会いとなる舞台上、私が子どもの頃から「こんな世界で生きてみたい」と望んでいた、詩的で幻想的で不可思議な時間や空間が描かれた作品でした。ほんとうに美しく魅惑的な舞台上、私の原点となる作品、役です。

3 俳優をやっていて、一番大切にしていることはなにですか。

見ること、聞くこと、です。

4 何か苦労話があれば教えてください。

苦労話ではありませんが、「演劇とは何か」「人とは何か」という疑問を、持ち続ける覚悟をしています。

5 渋谷愛さんの一番楽しいとき(プライベートを含めて)はどんなときですか。

全国巡回公演での、小学生・中学生・高校生との出会いです。公演前や公演後に生徒さんたちが話しかけてくれるとき、自分のことを自分の言葉で伝えてくれるときは、すごく嬉しいです。あてもなく歩くこと、音楽を聞くこと、本屋に行くこと、体を動かすこと、人やモノを見つめること、空想や妄想することが好きです。すべてが私にとって演劇に繋がっています。

6 高知国際中学校の中学生にメッセージをいただけますか。

高知国際中学校のみなさん、『ヘレン・ケラー』の舞台を一緒につくってくれてありがとう。

どうぞ自分を、自分の直感を大切にしてください。それは人を思い、今を見つめ、未来を思い描くことに繋がるのではないかと思うからです。文化祭、思いきりやりきってください。ひとりひとりにとって思い出となる時間となること、そしてみなさんとまた再会できることを願っています。

アニー・サリバン役 渋谷愛

中村 滋さん

1 いま、東京演劇集団「風」の俳優さんですが、これまでの経歴の簡単に教えていただけますか。

僕が演劇を始めたのは高校1年生です。担任の先生からの誘いで演劇部に入りました。毎日、ディスカッションをしながら本番に向かっていく、その難しさと本番を終えた達成感は言葉にできないものがありました。そして高校を卒業し、演劇を続けたいと日本大学芸術学部演劇学科に進み、大学4年生のときに東京演劇集団風と出会い、劇団のインターンシップ制度を経て、卒業と同時に東京演劇集団風の劇団員として入団し、現在俳優、上演を企画する仕事をしています。

2 いままでにやった役で一番印象に残っている役はなにですか。また、それはなぜですか。

全国巡回公演は劇団創立してずっと行なっている活動で、僕らが演劇を続けるなかで根幹の活動だと思っています。年間180~200回の公演を行なっています。みんなで観て、それぞれに感じる、正解はありません。演劇を観ることを通して自分自身の可能性や友達の存在、それぞれの新たな発見の場であればと思っています。

3 俳優をやっていて、一番大切にしていることはなにですか。

文化庁との関わりは劇団創立してから続いています。中でも僕らが大事にしている文化庁主催の公演は、本物の舞台芸術を見せたいけれども人数的に少なく予算面が厳しい学校や、地域的に鑑賞しにくい地域（離島や山間部）の学校に文化庁から芸術団体が依頼を受け、上演するという企画です。必ずその学校の体育館で行い、児童・生徒さんが一緒に参加して芝居を創り上げます。どんな地域や環境においても文化・芸術に触れさせてあげたい、思い出を作りたいという思いから始まりました。

4 何か苦労話があれば教えてください。

海外での活動は2003年から始まりました。現在、フランス・ルーマニア・ポーランド・レバノンなどのアーティストたちと交流をしています。海外公演や僕らの劇場で国際演劇祭など行なってきました。近年は共同製作に力を入れています、舞台のデザインや小道具、衣装など依頼しています。レパートリーの『ジャンヌ・ダルク』が代表的な例で、この戯曲はフランスの現代作家マテイ・ヴィスニユックが日本の若い人たちのために書き下ろし、今では全国各地の高校生たちが鑑賞しています。

僕にとって演劇とは、自分を生きることです。本番の舞台上で観客のみなさんが発見することが自分の力につながります。そしてプロデュースをする中で、先生とやりたいことを語りあえたとき、喜びと同時に刺激になります。（高知国際中学校の森本先生と話している時もそうでした!）

5 中村滋さんの一番楽しいとき(プライベートを含めて)はどんなときですか。

一番楽しい時は上演が決まったときです。演劇は観客がいないと出来上がらないので。観客のみなさんも演劇の創り手だと思っています。(プライベートは思いつきません、すいません。。。)

6 高知国際中学校の中学生にメッセージをいただけますか。

高知国際中学校のみなさんこんにちは、11月の文化発表に向けてそろそろ始まる頃ですね。2年生は2回目、1年生は初めてですね。たくさん話して、時にぶつかり、演劇を創ってください。本番は緊張もあると思います。全てを楽しんで下さい、演劇にしかできない経験があると思います。本番後、きっとみなさん1人1人に新しい発見があると信じています。頑張ってください!

ヘレン・ケラーの兄 ジェイムス・ケラー役 中村滋

お知らせ Information

台風・大雨等異常気象等への 対応について

教頭:片岡真希

今年も台風や豪雨が多く発生しており、先日も関東地方での被害が報道されています。また、先日の豪雨では皆様のご家族やお知り合い等に、被害にあわれた方はいなかったでしょうか。

台風接近や大雨の影響による休校や始業時刻を遅らせるなどの対応につきまして、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

「**台風・大雨等異常気象等への対応について**」の生徒・保護者の皆様への周知等につきましては、「**臨時休校の場合**」、「**始業時刻を遅らせる場合**」のみ本校ホームページに**当日午前6時まで**にその旨を掲載しています。

また、**Classi**を活用した**連絡**も行っています。

ご家庭におかれましても、再度ご確認いただくとともに、急な豪雨等の場合には、ご家庭におきましても安全確保を第一に適切な対応を今後ともどうぞよろしくお願い致します。

教頭:片岡真希

登下校時の安全について

秋分の日も過ぎ、秋も次第に深まり、日没も早くなってきています。県下でも毎年生徒が巻き込まれる事故が発生しており、本校でも注意喚起をしているところです。

交通ルール・マナーをしっかりと守り、安全には十分注意を払って登下校してください。

また、自転車通学の人は、整備をしっかりと行い、**早めの点灯**を心がけましょう。

学校では、**ヘルメットの着用を強く推奨**しています。自分の身を守るためにも着用をお願いします。

ヘルメット購入には、「**高知県自転車ヘルメット着用推進事業**」を活用すると、ヘルメット購入費用の一部が補助されます。販売協力店においてヘルメットを購入する際に、一人**2000円**の補助が高知県から受けられます。今年度の補助券の使用期限が**12月31日**までになっていますので、積極的にご利用ください。

なお、詳しい情報をお知りになりたい方は、高知県教育委員会事務局学校安全対策課のホームページに情報がありますのでご覧ください。また、本校(教務)までご連絡ください。

10月・11月のおもな日程

- 10月8日(火)・9日(水) 2学期中間試験
- 10月17日(水) 東京佼成ウィンドオーケストラ公演
- 10月21日(月)~24日(木) 2年生就学旅行
- 10月23日(水) 給食試食会・保護者交流会
- 10月25日(金) 1年生フィールドワーク
- 11月 1日(金) 文化発表会
- 11月 3日(日) 鏡川ふれあいコンサート・ユニセフバザー
- 11月10日(日) 学校説明会
- 11月19日(火) ピアニストの奥田弦さん(現役高校生)のコンサート
- 11月18日(月)~22日(金) 公開授業週間



高知県立高知国際中学校

〒780-0852 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

TEL:088-844-1221 FAX:088-844-4823

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>

Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp

平成30年9月 MYP 候補校として認定

高知県立高知国際中学校・高等学校は、地域や国際社会の発展に貢献できるグローバル人材の育成を行う学校です。

令和2年度中に DP 認定校となるように準備をすすめています。